

自己評価について A (ほぼ) 達成できた (評価数値の目安 3.2 以上)
 B 課題はあるものの、ある程度達成できた (同 2.0~3.2)
 C 改善を要する (同 2.0 未満)

項目	評価項目	評価の指標 (3.2 以上 A、2.0 未満 C)	自己 評価	改善の方策 詳細は下欄 (考察) に記載
1	学習指導 NO2 (授業) NO3 (家庭学習) NO4 (読書) NO6 (運動) NO13 (行事)	保護者 3.2 児童 3.5 職員 3.1 保護者 3.2 児童 3.2 職員 3.1 保護者 3.0 児童 3.0 職員 3.3 保護者 3.2 児童 3.4 職員 3.4 保護者 3.3 児童 3.7 職員 3.3	B	・授業規律の再確認。 ・ICT 活用を進め、主体的、対話的な学習を推進する。 ・読解力の向上を目指す視写、暗唱学習の導入
2	生徒指導 NO5 (道徳) NO7 (思いやり) NO8 (規範) NO10 (勤労) NO12 (いじめ対応)	保護者 3.1 児童 3.2 職員 3.2 保護者 3.1 児童 3.2 職員 3.6 保護者 3.1 児童 3.3 職員 3.5 保護者 3.1 児童 3.5 職員 3.5 保護者 3.1 児童 3.4 職員 3.7	B	・生徒指導の機能、特に「自己存在感」「共感的理解」「安全・安心な風土の醸成」を大切にしたい指導を全職員で確認する。 ・児童会活動の活性化。
3	特別支援教育 NO15 (支援・配慮) (職員アンケート) 支援体制 理解啓発	保護者 3.1 職員 3.5 (以下は職員へのアンケート結果) 職員 2.4 職員 2.7	B	・保護者と困り感を共有し連携した個別支援の充実。 ・職員間の共通理解と連携強化。
4	地域との 連携・ 協働 NO11 (相談) NO18 (発信) NO19 (連携) NO20 (誠実さ)	保護者 3.2 児童 3.6 職員 3.8 保護者 3.4 職員 3.2 保護者 3.2 職員 3.3 保護者 3.2 職員 3.6	A	・地域学校協働活動を徐々に広げ、保護者をはじめとする地域の意識啓発を進める。
5	安全・安心な学校 づくり NO16 (安全) NO17 (保健)	保護者 3.2 児童 3.5 職員 3.5 保護者 3.2 児童 3.7 職員 3.1	B	・学校施設の安全点検、管理の徹底。 ・健康安全に関する指導や情報提供の充実。
6	教職員の 資質向上 (職員アンケート) 研修体制 ICT 機器の活用 業務改善	(以下は職員へのアンケート結果) 職員 2.9 職員 2.9 職員 2.2	B	・職員のニーズを反映した実践的な研修計画の作成及び業務の効率化や見直しを進める。

<考察 (今後の学校運営に生かす視点で)>

昨年度からマイナスになっている項目が増えていることは真摯に受け止めねばならない。「規範」の評価の低下が示すように、日常生活の中で落ち着きに欠ける場面が増えてしまったことが大きな要因と考える。児童に対しては生活ルールの再確認、諸活動を通じた児童の意識向上などを進め、職員間でも、必要場面に応じた人員配置の工夫や、再度指導内容を整理・確認し連携を強化すること等により規範意識の向上を図りたい。

「職員としては意識して指導しているが、児童にはさほど浸透できていない」と考えられる項目について、具体的な指導のしかたや意識のさせ方などで改善を目指す。学校の積極的な情報発信や、小さな成長を積極的に見出すこと等で自己肯定感を高め、児童の変容につなげていきたい。